

立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)
共同プロジェクト研究
2023年度研究【経過・**成果**】報告書

研究代表者	所属部局・職名		氏名					
	異文化コミュニケーション学部・教授		イヒャンジン					
研究課題	グローバル・スタディーズとしてのコリアン・スタディーズ文化交流と人の移動を軸に							
研究組織 (研究代表者・研究分担者) 2024年3月現在	所属研究機関・部局・職名		氏名					
	研究代表者 立教大学・異文化コミュニケーション学部・教授		イヒャンジン					
	研究分担者 立教大学・異文化コミュニケーション学部・教授		浜崎桂子					
	立教大学・異文化コミュニケーション学部・特別専任教授		武田珂代子					
	立教大学・異文化コミュニケーション学部・教授		河合優子					
立教大学・文学部・兼任講師		金智英						
全研究期間	2021年度 ～ 2023年度							
研究経費※	2021年度		2022年度		2023年度		総計	
(上段:支出金額)	2,600,000	円	1,644,044	円	1,700,000	円	5,944,044	円
(下段:採択金額)	2,600,000		1,700,000		1,700,000		6,000,000	

※1円単位で記入

研究の概要 (200~300字で記入、図・グラフ等は使用しないこと。)

本プロジェクトの目的は、欧米、アジアなど世界の多様な地域における関連研究、そして日本研究及びアジア研究との連携を図りつつ、日本におけるコリアン・スタディーズの拠点を確立すると同時に、グローバルな連携を強化することである。この研究では、トランスナショナルな視点から韓国の多種多様な動向への関心に答えつつ、グローバルな連携を強化した日本における新たな韓国・朝鮮に関連する研究(以下、コリアン・スタディーズとする)の展開を目指す。さらに、共同研究の成果を教育プログラムの開発に応用できるようにし、現代性、学際性、グローバルな通用性をもつ新たなコリアン・スタディーズの教育プログラムの開発を推進する。

キーワード (研究内容をよく表しているものを3項目以内で記入。)

[コリアン・スタディーズ] [文化交流] [学際性]

研究【経過・成果】の概要 (図・グラフ等は使用しないこと。)

コリアン・スタディーズは、グローバル・スタディーズの一環として、韓国・朝鮮の多様な動向に対する理解を深め、文化交流と人の移動を軸に据えてトランスナショナルな視点を持つことが重要である。この共同研究プロジェクトの目的は、日本における新たなコリアン・スタディーズの展開を図り、国内外のネットワークを活用して研究者同士の連携を強化し、韓国・朝鮮に焦点を当てながら、文化交流と人の移動を探究することである。研究期間中、共同研究者はそれぞれの国内外ネットワークを活かし、韓国・朝鮮研究に携わっている研究者と連携しながら、コリアン・スタディーズの新しい展開を目指した。

2021～22年度：研究プロジェクトは、韓国関連テーマの各分野の研究者を招いて行った研究会によりスタートした。これにより、異なる視点からの知見が共有され、新たな研究の方向性が模索された。

2021 年度中の研究会、報告会。

【研究会】

第一回：2021年7月23日(金)

報告者(研究協力者)：金智英氏(立教大学文学部兼任講師)(11月から分担者として合流)

タイトル：日本における韓国文学

第二回：2021年9月11日(土)

報告者(研究協力者)：李美淑氏(立教大学グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター助教)

タイトル：熊本市民から問う日本の近代史とアジア「明成皇后を考える会」(以下考える会)と父の「従軍日誌」

第三回：2021年10月16日(土)

報告者(研究協力者)：Yeo Yezi氏(立教大学異文化コミュニケーション学部助教)

タイトル：韓国芸能人の兵役のメディア・スペクタクル

発表内容：【研究の背景・概念、研究方法、事例紹介・メディアの反応、Q/A】

【報告会】

2021年9月11日(土)

報告者：武田珂代子(立教大学異文化コミュニケーション学部教授)

タイトル：濟々鬢・熊本とコリアン・スタディーズ

報告者：RA 朴健植(立教大学大学院社会学研究科博士後期課程)

タイトル：韓国社会が描く乙未事変という歴史的事件

報告者：RA 高橋伸夫(立教大学異文化コミュニケーション研究科博士後期課程)

タイトル：尹東柱関連資料についての調査報告

2022 年度中の研究会、論議会、報告会。

【研究会】

第一回：2022年5月6日(金)

研究協力者：崔徳孝(University of Sheffield)

タイトル：朝鮮の脱植民地化と日本一在朝日本人の引揚げと植民地の記憶についての研究

第二回：2022年11月7日(月)

研究協力者：小林聡明(日本大学法学部准教授)

タイトル：朝鮮に関する知の形成とマッキューン夫妻一対日戦開戦前後アメリカの学术界と政策立案集団との関係について

第三回：2022年12月3日(土)

報告者：金智英(立教大学文学部兼任講師)

タイトル：日本における韓国文学の受容

【論議会】

2022年10月4日(火)

参加者：イヒャンジン、浜崎桂子、武田珂代子、河合優子、金智英。

タイトル：研究成果の出版のことについての研究会

【報告会】

2023年1月28日(土)

タイトル：個人研究報告会

発表内容：分担者5名とRA2名の研究内容報告

研究【経過・成果】の概要(つづき)

2023年度:3年間の研究成果を踏まえ、共同研究者と協力して異文化コミュニケーション学部より『異文化コミュニケーション論文』特集として研究成果をまとめ、出版することができた。これにより、コリアン・スタディーズの新たな知見を広く社会に発信することが達成された。

2023年度中の研究会、報告会。

【研究会】

2023年8月14日(月)

報告者:高橋伸夫 タイトル:『愛の不時着論』報告と韓国映画・ドラマ先行研究報告

【報告会】

2024年2月2日(金)

タイトル:個人研究成果報告会

発表内容:分担者5名とRA1名の研究成果内容報告

【異文化コミュニケーション論文特集】

特集「トランスナショナル・コリアン・スタディーズ」は、2021年度から3年間にわたって実施してきた立教SFR共同プロジェクト研究「グローバル・スタディーズとしてのコリアン・スタディーズ—文化交流と人の移動を軸に」(代表:イヒャンジン)の研究成果である。各論考のタイトルは以下のようである。

イヒャンジン:「在日映画とポストナショナル:グ・スーヨンのロードムービーにおけるロマンスとインター・エスニシティ性」、河合優子:「日本の植民地支配の文化的記憶と歴史ドラマ:関連概念の整理」、浜崎桂子:「韓国からドイツに渡ったガストアルバイターの移住と再移住」、武田珂代子:「日露戦争期における熊本出身の朝鮮語通訳者」、金智英:「日本における『K文学』」

国内調査活動と国外の調査活動

研究期間中、共同研究者はそれぞれの国内外のネットワークを活用して、国内外での調査研究を行なった。これにより、韓国・朝鮮に関する新たな情報や視点が得られ、研究の幅が広がった。

2021~2023年度 国内調査活動と国外の調査活動をまとめると以下のとおりである。

【国内調査活動】

年度	調査期間・地域	活動	参加者
2021	7月28~30日・熊本	『明成皇后を考える会』聞き取り調査、インタビュー	イヒャンジン、武田珂代子、韓志昊、研究協力者:李美淑
	11月2日~4日・山形	『茨木のり子六月の会』関連地域、見学聞き取り調査	韓志昊、金智英
	11月20日~22日・福岡	『日韓映画文化交流研究会』聞き取り調査	韓志昊、金智英、*研究協力者:臺樹純子・崔錦珍
2022	12月10日~11日・愛知	『詩人茨木のり子の会』定例会参加、講演、聞き取り調査	金智英
	12月21日~22日・山梨	『金子文子研究会』と共同研究会、聞き取り調査	イヒャンジン、浜崎桂子、河合優子、高橋伸夫、朴健植、金智英
2023	9月17日~18日・愛知	『詩人茨木のり子の会』定例会参加、講演、関連資料収集	金智英
	9月23日~24日・福岡	『尹東柱詩を読む会』会参加、関連地域見学、聞き取り調査	イヒャンジン、金智英
	12月16日~18日、2024年1月24日~25日・熊本	熊本県立図書館で明治期の熊本県議会議事録中にある朝鮮への言及を調査	武田珂代子

【国外の調査活動】

年度	調査期間・地域	活動	参加者
2021	11月11~28日・英国	シェファイルド所在大学、独立劇場など訪問、聞き取り調査及び学術交流	イヒャンジン
	12月2日~5日・イタリア	イタリアヴェネツィアアカボスカリ大学訪問、聞き取り調査	イヒャンジン
	12月18日~2022年1月3日・米国	コロンビア大学訪問、資料調査及び学術交流	イヒャンジン
2022	10月5日~11日・韓国	韓国釜山国際映画祭参加、資料調査、打ち合わせ	イヒャンジン
	11月9日~15日・韓国	ソウル北朝鮮大学校大学院シンヨン研究所研究所訪問、北朝鮮大学校大学院シンヨン研究所の会議参加、資料調査	イヒャンジン
2023	2月9日~4月6日・ドイツ	ベルリン自由大学、韓国映像資料院訪問、ベルリン国際映画祭参加、講演、インタビュー	イヒャンジン
	7月23日~7月30日・インド	アフマダーバード大学で開かれるINTER-ASIA CULTURAL STUDIES参加、発表、学術交流	イヒャンジン、金智英
	10月27日~29日、11月4日、12月12日~14日・イギリス	大英図書館、日露戦争従軍英国武官の報告書の中にある朝鮮への言及を調査	武田珂代子
	12月12日~14日・ドイツ	在ベルリン、韓国協議会および慰安婦ミュージアムを訪問、聞き取り調査、展示及び資料閲覧	浜崎桂子

※この(様式2)に記入の【経過・成果】の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差控え期間等を記入した調書(A4縦型横書き1枚・自由様式)を添付すること。

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)

- ・河合優子「日本の植民地支配の文化的記憶と歴史ドラマー関連概念の整理」、『異文化コミュニケーション論集』第22号、2024、(ページ未定)。
- ・武田珂代子(2024)「日露戦争期における熊本出身の朝鮮語通訳者」、『異文化コミュニケーション論集』第22号、2024、(ページ未定)。
- ・浜崎桂子「韓国からドイツに渡ったガストアルバイターの移住と再移住」、『異文化コミュニケーション論集』第22号、2024、(ページ未定)。
- ・金智英「日本における『K文学』」、『異文化コミュニケーション論集』第22号、2024、(ページ未定)。
- ・イハンジン「在日映画とポストナショナル:グ・スーヨンロードムービーにおけるロマンスとインター・エスニシティ性」、『異文化コミュニケーション論集』第22号、2024、(ページ未定)。
- ・イハンジン「グローバル韓国映画の最前線、パク・チャヌクの『別れる決心』を読む」、『ユリイカ』801(55-4)、2023、87-93。
- ・イハンジン「이향진의 코리아 시네마 베를린 2023」(Korean Cinema with Hyangjin Lee in Berlin 2023)、『CULTURA』03、2023、46-49。
- ・イハンジン「도쿄의 봄, 영화속의 빛꽃 이야기」(Spring in Tokyo, Stories of Cherry Blossoms on Screen)、『CULTURA』04、2023、58-63。

②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)

- ・Takeda, K. Language Training and Interpreting for Japan's Imperial Ambitions: Kumamoto-connected Interpreters for Korean and Chinese in the Russo-Japanese War (1904-1905) In L. Ruiz Rosendo, & M. Todorova (Eds.), Routledge Handbook on Interpreting and Translation in Armed Conflict. Routledge. (2025, forthcoming)
- ・河合優子、青弓社、『日本の人種主義—トランスナショナルな視点からの入門書』、2023、256 ページ。
- ・イハンジン、Yonsei University Press、『코리아 시네마—남과 북, 경계를 넘어』(Korean Cinema: North and South, and Border-Crossing)、2023、492 ページ。
- ・イハンジン、筑波大学出版会、「韓流ロマンス・コメディ、愛の不時着における日常美学とフェミニスト批評」『日常のかたち美学・建築・文学・食』、2023、252-265。
- ・Hyangjin Lee. 'Screen Memories: Sai Yoichi's Zainichi Trilogy.' In Mark E. Caprio and Winstanley-Chesters (eds.) Japan and Korea: Contemporary Issues. 1850-Present. MHM Limited and The University of Amsterdam Press (2024, forthcoming).
- ・Hyangjin Lee. 'Memory Politics in North Korean Cinema: Nation and the Transnational.' In Zhang Zhen and all (eds.) Routledge Companion to Asian Cinema. Oxford: Routledge (2024, forthcoming)

③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)

- ・Kawai, Yuko. *Japanese concepts of race and racism against Asian minorities and mixed-race Japanese*. Lecture invited for 'Race and Gender' Lecture Series 6, Asian Center for Women's Studies, 2023, Sep 8, Ewha Womans University, Online.
- ・武田珂代子「How do we Evaluate Translation Policy?」韓国外国語大学通訳翻訳研究所コンファレンス 2023年1月27日、オンライン。
- ・武田珂代子「Words Matter and Translation Matters in War Memory」台湾国立政治大学講演会シリーズ Knowing Asia through Wars/Knowing Wars through Asia. 2023年5月1日、台湾国立政治大学。
- ・武田珂代子「Japanese military interpreters during the Russo-Japanese War (1904-05): Institutional language learning for Japanese imperial ambitions」History and Translation Network History and Translation: Situated practices in the global context. 2023年5月12日、オンライン。
- ・金智英「境界を越えた二人の詩人: 茨木のり子による尹東柱詩翻訳」九州大学韓国教育センター韓国国際交流財団後援金智英先生講演会、2023年6月2日、九州大学。
- ・金智英「茨木のり子と尹東柱: 茨木のり子の尹東柱詩翻訳」「詩人茨木のり子の会」9月記念講演会、2023年9月17日、岩瀬文庫。
- ・Hyangjin Lee. 'Transnational Narratives of Women in Division Films', Invited talk, "Korean Cinema with Hyangjin Lee," 2023, February 13-15, Berlin Free University, Berlin.
- ・イハンジン、「日韓映像文化から見る「孤独死」と資本主義」、第37回日韓経済経営国際学術会議: 日韓関係の活性化と資本主義社会、2023年、8月25日、横浜市立大学。
- ・Hyangjin Lee. 'Korean Auteurism at the Forefront of Global Cinema,' Invited Talk, "The Origins of the South Korean Film Renaissance," 2023, November 2-4, Lingnan University, Hong Kong.
- ・Hyangjin Lee. 'The 2024 Korean Cinema with Hyangjin Lee,' Organizer and Presenter, 2024, February 13-15, Berlin Free University & Capitol Dalhem, Berlin.

④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

- ・河合優子「日本の植民地支配の文化的記憶と歴史ドラマー共感、ナラティブ、忘却、無知」第96回日本社会学会大会、2023年10月8日、立正大学
- ・武田珂代子「太平洋戦争・日本占領期におけるキリスト教宣教関係者の翻訳通訳活動」日本通訳翻訳学会第22回年次大会。2022年9月4日、オンライン。
- ・Takeda, K. "Korean interpreters from Kumamoto during the Russo-Japanese War: a local government's "study in Korea" program as a source of Japanese military interpreters" AAS年次大会 2023年3月17日、ボストン。
- ・金智英「"K-literature" in Japan: Comparison with the Japanese literature in Korea」InterAsian Cultural Studies Society Conference, 2023, July 28, Ahmedabad University, Ahmedabad.
- ・Hyangjin Lee. 'Trans-border Solidarity and Festival Politics in Kore-eda Hirokazu's Broker (2022),' Society of Screen and Media Conference, 2023, April 12-15, Denver.
- ・Hyangjin Lee. 'The Social Imaginary "Lonely Death" in Plan 75 (2022) and The Bacchus Lady (2016),' Invited Talk, Dyeing Alone and Its Afterlives in Contact-less Socialities International conference, Max Planck Institute for Human Development, 2023, April 19, Berlin.
- ・Hyangjin Lee. 'Camp and Satire: Crash Landing on K-Drama,' InterAsian Cultural Studies Society Conference, 2023, July 28, Ahmedabad University, Ahmedabad.
- ・Hyangjin Lee. 'Korean Film after Streaming' Round Table, "OTT and Future of National Cinema," Society of Screen and Media Conference, 2024, March 14-17, Boston.
- ・Hyangjin Lee. '출판기념회' (Book Publication Talk), 『코리아 시네마: 남과 북, 경계를 넘어』(Korean Cinema: North and South, and Border-Crossing), 2024, March 21, Yonsei University, Seoul.